

令和6年度 福井市中央卸売市場経営戦略の進捗状況について

I 経営戦略について

- ・令和3年3月に策定及び公表済。計画期間は令和3年度～12年度の10年間。
- ・「魅力的な市場」及び「機能的な市場」を2つの柱とし、6つの基本目標を設定。28の取組を行う。
- ・令和7年度頃を目途に中間検証を行い、これまでの取り組みの進捗状況や課題の検証を実施予定。
- ・福井市中央卸売市場運営協議会において年度ごとの進捗管理を行う。

II 令和6年度 取組状況等

- ・市場開設50周年記念事業として記念式典やシンポジウム、市場フェスタを開催した。記念事業と関連して各種広報や動画公開により、市場からの情報発信を実施した。
- ・首都圏を中心とした観光客に対する福井の食の認知度向上や販路拡大を目的として、福井駅からふくい鮮いちばとトレタスを結ぶシャトルバス「ぐるぐる周遊バス」の実証実験を実施した。

(1) 魅力的な市場

ア 食の安全安心への対応

〈取組評価〉

A：計画以上の取組を行い大きな成果をあげているもの
B：計画通りの取組を行い一定の成果を上げているもの
C：取組が不十分、又は次年度以降の取組となるもの

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R5	R6
○衛生管理の徹底				
1	衛生検査機関等との連携による食品の安全性向上	市保健所による立入検査の実施（随時）	B	B
		県食品衛生協会による食品衛生講習会の実施		
2	市場内衛生環境の保全	放鷹によるドバトの追払い業務及びカラスの追払い業務の実施（年間 34 回）	B	B
		鳥の巣を発見次第、除去を実施		
○商品の品質管理体制の充実				
3	食品検査の強化	残留農薬検査、細菌検査を実施（年 3 回 18 品目、全て異常なし）し、結果を公表	B	B
		食品表示法に基づく立入調査の実施(随時)		
		量目検査の実施（年 6 回 訂正率：9.6％）		
○危機管理体制の確立				
4	危機事象への対応	関連商品売場棟において消防訓練を実施（R6.7）	A	A
		東消防署職員を講師に招いて防火研修会を実施（R7.3）		

イ 環境負荷が少ない市場の実現

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R5	R6
○リサイクルの推進				
5	資源物のリサイクルによる廃棄物の削減	場内で発生したゴミの分別の徹底 廃棄物排出量（R5:1,995t→R6:1,734t）	A	A
○省エネルギーの推進				
6	省エネ設備への切り替えによる電気使用量の削減	LED 照明器具への交換（卸売棟低温売場:6 台、福井青果事務所:4 台、発泡スチロール:4 台計 14 台） 電気使用量：R5:550 万 kwh→R6:563 万 kWh 増加の理由：昨年を超える猛暑による使用電力増等	B	B
○社会的な環境活動への貢献				
7	環境活動への参加・支援	期限の近い商品や規格外品など販売するなど、食品ロス削減のための取り組みを推進	A	A
8	脱炭素社会を目指す活動への参加	市場内のフォークリフト電動化やトラックの E V 化に係る情報収集継続中	C	C

※（パレット＋発泡スチロール＋段ボール＋廃プラ・金属くず等＋魚腸骨）÷総排出ごみ量

ウ 市民に開かれた市場の実現

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R5	R6
○ふくい鮮いちばの充実				
9	ふくい鮮いちばの店舗の充実	デジタルサイネージを設置し、販促コーナーをリニューアル	B	B
10	ふくい鮮いちばの集客力強化	イベントを12回開催	A	A
		福井駅、ふくい鮮いちば及びトレタス間で無料シャトルバス運行を実証実験（R6.9～12）		
		団体客の食事・買い物の受入れを開始		
		市広報プロモーション課と連携し、PR動画のネット公開（福いいネ！ch）		
		有名タレントのYouTubeチャンネルやテレビ番組放送に協力し認知度を向上		
		開業10周年を周知する懸垂幕で正面の雰囲気刷新、賑やかさを創出		
○卸売市場の機能・役割の周知				
11	市場見学、市場開放イベントの開催	学校等の市場見学（26団体、787人）	A	A
		親子市場見学（3回、30組80人）		
		市場見学用説明ビデオのリニューアル		
		市場フェスタ開催(5,973人）（R6.10）		

12	メディア、インターネット等を活用した情報発信	「Facebook」「市場 HP」等で情報の発信 (R6：73 回)	A	A
		ふくい鮮いちば実行委員会が、昨年に引き続きテレビCMの作成やインスタグラムによるフォトコンテストを実施		
		各種行事について報道機関に情報提供し、TVや新聞等で市場をPR		
		市場開設 50 周年の周知と併せ市場紹介の特集記事(広報ふくい)やパネル展示(福井市役所)、記念事業の動画作成・ネット公開		
○地域交流活動への支援				
13	地域ふれあい広場の活用	一般開放の実施：3 月～11 月 (8:30～17:00) (スポーツ利用や親子家族の遊び場、市場見学での昼食や休憩場所等として利用)	B	B

(2) 機能的な市場
ア 中央卸売市場の機能維持

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R5	R6
○公共性の担保				
14	市場の公正性・公平性の担保	公認会計士による財務検査の継続 検査対象業者 卸 1、仲卸等 7、計 8 社 検査実施期間 R6.9～R7.3（講評等含む） 卸売業者への業務検査の実施 検査対象卸売業者 青果部 検査実施期間 R6.9～R7.3	A	A
○経営改善支援策の充実				
15	経営基盤強化の推進	経営セミナーの開催（「あなたは大丈夫？ 自分の相続、会社の相続！」（R7.2））約 30 人参加 財務検査結果に基づく指導	B	B
16	事業連携の推進	一部青果仲卸業者で共同配送を実施。引き続き共同配送・共同加工等の事業連携事例の調査及び情報収集継続	B	B
○市場運営の効率化				
17	事務手続等の見直し	各事業者が提出する書類の電子化の推進	A	A
○市場の経営戦略の確立				
18	経営戦略の検証及び見直し	今年度の進捗状況を報告（R7.3）	B	B
19	取引ルールについての検証	各部取引委員会での聞取り（改正意見なし）	B	B

イ 物流の効率化、販売力の強化

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R5	R6
○市場ブランドの構築				
20	量販店等への販売力強化	水産物部卸売業者らで作成したポスターを量販店に配布し、店頭に掲示(半夏生鯖)	B	A
		ふくい名水サーモンの養殖施設が ASC 認証取得し、ブランドイメージの向上		
		青果仲卸による企業向け宅配事業を展開		
21	近海今朝とれ市のブランド化の推進	親子市場見学(3回、30組80人)で一般市民(消費者)が実際のせりを見学	B	B
○産地との連携				
22	産地との連携による集荷力の強化	優良出荷者の表彰 青果部2社	B	B
23	地場産品のPR	地場産品の情報発信	B	B
		ふくい鮮いちばで「ふくいサーモン祭」をはじめとする各種イベントの開催		
		地場産品初せり等の情報発信(梅・スイカ R6.6、梨 R6.8、柿 R6.10、ズワイガニ R6.11 など)		
○実需者ニーズへの対応				
24	加工設備の充実	飲食店のニーズに合わせた加工を実施	B	B

ウ 施設の長寿命化と有効活用

取組内容		取組状況等		取組評価	
				R5	R6
○施設の計画的な改修					
25	設備の改修	給水・消火設備更新工事(第1期)(R7.1完了) 低温倉庫冷凍設備更新工事(R7.3完了)		B	B
26	建物の長寿命化	低温倉庫外壁改修工事(R6.10完了) 建物不具合箇所の修繕を実施(随時)		B	B
○既存施設の有効活用					
27	卸売棟や関連商品売場棟の空小間の解消	関連商品売場棟 新規入居 7小間		B	B
28	余裕敷地の有効活用	余裕敷地を H29.3.31 から観光バス駐車場として活用 (R6 延べ利用台数 53 台)		B	B

Ⅲ まとめ

経営戦略における 28 の取組内容のうち、令和 6 年度の評価としては、

A：9、B：18、C：1

となっている（A 評価 R5：8→R6：9）。今後も各取組評価が上がるよう引き続き推進を図っていく。